

那覇港だより

な は みなと

2025. 3. 7
第32号

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

目次

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

1	那覇港で遊びたい！	・・・1
2	縁の下の力持ち！ 海面清掃船「清港丸Ⅱ」に密着！！	・・・4
3	那覇港とびっくす（那覇港の動き）	・・・6
4	那覇港写真館	・・・7

今号でご紹介する
緑地等の位置図



那覇港で遊びたい！

(管理課)

那覇港管理組合で管理しているのは港だけではありません！
那覇港にはスポーツやイベントで使用されている緑地がありますので、その一部をご紹介します！

浦添ふ頭南緑地(A)



週末の様子

波の上みそら公園

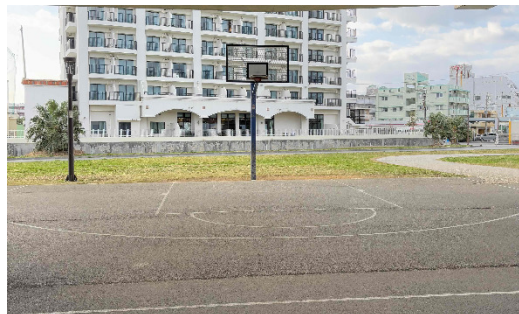
○園内には、波の上ビーチやB B Qエリアがあります。

○バナナボートやS U P、ダイビング、シュノーケリングといったマリンアクティビティを楽しむことができます。

○イベントも開催していますので、HPは要チェックです！

<https://www.naminouebeach.jp/>

※指定管理者：ナハ・シー・パラダイス共同企業体



泊緑地

- フェリーを眺めながら、ぼんやり一休みするのにいかがでしょうか。
 - イベントも開催していますので、要チェックです！
- ※指定管理者：株式会社沖縄ダイケン



過去のイベントの様子



緑地について、詳しくは那覇港管理組合HPをご覧ください。

緑の下の力持ち！

海面清掃船「清港丸Ⅱ」に密着！！

(総務課)

私たち職員にもあまり知られていない(実は気になっていた人も多い?)、那覇港管理組合が保有する唯一の船舶である海面清掃船「清港丸Ⅱ」。那覇港のために頑張っているその姿に密着しました！



海面清掃船「清港丸Ⅱ」



操舵室の内部

「清港丸Ⅱ」は、那覇港内の船舶の航行安全、水域の美化及び環境保全の確保を図る目的で、定期作業として週2回、火曜日と金曜日に、那覇港内(那覇・泊・新港・浦添の各ふ頭)の海に浮かんでいるゴミを回収しています。また、臨時作業として大雨や台風の後にも滞留ごみの撤去を行っています。

なぜ、海に浮かんでいるゴミを回収するのか？

港内に浮かんでいるゴミの大半は、川を通して街から流れてきたものです。また、岸壁から落下したものや、ポイ捨てによるものもあります。

海面に浮かぶゴミを放置した場合、次のような問題が発生する恐れがあります。

①漂流物による事故

海面ゴミの中には丸太などもあり、放置すると船に接触して船体を傷つけて浸水したり、小型船の場合は沈没などの重大事故につながることもあります。

②海面ゴミによる船の故障

船のエンジンを冷却する機械に海面ゴミが詰まったり、船を動かすスクリューにゴミが巻き付いて動かなくなるなど、故障の原因になることがあります。

③環境汚染

海面ゴミには有害な物が含まれていることがあり、海の生物に対して重大な問題となります。



海面ゴミがないか
双眼鏡で確認します

海面清掃の作業方法

自走しながら船に積んであるカゴを降ろし、竿や網を使って海面ゴミをかき寄せつつ、船首部分のロータを作動させ水流を作りながら回収していきます。



また、大き過ぎる流木などは、岸までロープ等で引っ張って、ユニック車（クレーン付きのトラック）を使用して回収することもあります。



主な海面ゴミとしては、ペットボトル、発泡スチロール、ビニール袋といったプラスチック類のほか、空き缶や空き瓶、木の枝や葉、丸太、板などがあり、日常生活で使っているものや、身の回りにあるものがほとんどです。その中でも、プラスチック類は海洋ゴミとして残り続けてしまうため、特に注意して回収しています。

回収されたゴミはクレーンで船から降ろされ、専用のコンテナに集めた後、処分されます。

おわりに

初代「清港丸」の時代から、長年にわたって那覇港の航行安全や美化に貢献している海面清掃船の活動には、人力による作業も多く、まさに縁の下の力持ちと言える存在です。

「清港丸Ⅱ」に関わる3名の職員は、日頃の整備・点検も含めて、地道な作業で今日も那覇港を支えています。

これからも那覇港のために、コツコツと頑張ってくれることでしょう！



1/8(水)

那覇港振興協議会新年祝賀名刺交換会



- 那覇港を利用する船社や港運会社等で構成する那覇港振興協議会(会長:宮城茂 琉球海運(株)会長)による「令和7年新年祝賀名刺交換会」がパシフィックホテル沖縄で開催され、計134名が参加しました。
- 主催者挨拶に立った宮城会長は、令和6年の活動を振り返りつつ、「今後も那覇港管理組合と連携を図りながら、那覇港の発展に取り組む」と意気込みを語りました。その後、那覇港管理組合管理者挨拶(照屋寛志常勤副管理者代読)、仲村家治那覇港管理組合議会議長による乾杯が行われ、参加者一同、那覇港の更なる振興・発展に向け一致団結しました。

1/22(水)

シルバードーン号初寄港



- バハマ船籍のシルバードーン(Silver Dawn)号(総トン数40,855t、全長212.80m、乗客定員671人、デッキ数8)が初寄港しました。
- クラシックでありながらモダンな船内には8つのダイニングがあり、最先端の設備を備えています。クルーズ業界で唯一、全客室にバトラーサービスを導入し、洗練されたサービスと最上級のおもてなしを提供しながらも、アットホームな心地よさを世界中のクルーズファンに提供しています。

1/24(金)

ノルウェー جان・スカイ号初寄港



- バハマ船籍のノルウェー・スカイ(NORWEGIAN SKY)号(総トン数77,104t、全長258.60m、乗客定員2,405人、デッキ数9)が初寄港しました。
- プールや受賞歴を誇るスパでは、優雅で贅沢な時間が過ごせます。また、屋外トラックやフィットネスセンターでは、素晴らしい景色を眺めながら汗を流せます。お食事も、無料レストランからイタリア料理・フランス料理のスペシャルティレストランまで幅広く楽しめます。エレガントな内装とくつろいだ雰囲気と備え、海上での休息のためにデザインされた客船です。

2/22(土)

ジャオシャンイドウン号初寄港



- 中国船籍のジャオシャンイドウン(ZHAO SHANG YI DUN/招商伊敦)号(総トン数47,842t、全長228m、乗客定員930人、デッキ数9)が初寄港しました。
- 全客室にベランダ、充実した室内設備、ミニバー、ルームサービスを完備しており、快適にお過ごしいただけます。客室は単なる寝室ではなく、景色を一望できる開放的で広々とした癒しの空間となっており、毎日、異なる眺めをお楽しみいただけます。

1/14(火)、2/17(月)、2/21(金)

観光二次交通の利便性向上を目指しています



船上からクルーズ船を臨む



船内からサンゴ礁を臨む

- 港内観光コンテンツの創出などを目的に、第2クルーズバースにおいて、「海上交通の実現可能性に係る社会実験」を実施し、全3日間の行程で113名が乗船プログラムに参加しました。
- 公募で選定された運航事業者((株)マリン観光開発)が、クルーズ船の寄港に合わせて水中観光船を運航し、クルーズ船関係者等が那覇港内のブルーカーボンクルーズを体験しました。(※ブルーカーボンクルーズについては「那覇港だより第30号」をご覧ください)
- 社会実験では、乗船者の動線管理、制限区域での保安要員との連携、乗下船時を含む輸送に伴う安全確保などの実地確認やアンケート調査を行い、第2クルーズバースを起・終点とする海上観光の可能性を検証しました。
- 乗船者から、「市街地の近くにとっても素晴らしいサンゴ礁がありました。観光方面から環境への普及啓発の取り組みが素晴らしい。」という声もあり、港内海上観光の更なる活性化が期待されています。

那覇港写真館



波の上みそら公園と波の上ビーチ



泊緑地と泊ふ頭地区



ノルウェー جان・スカイ号の歓迎セレモニー

**** 那覇港だよりに関するお問い合わせやご意見、情報の送り先****

那覇港管理組合 総務部 総務課
 〒900-0035 那覇市通堂町2番1号
 TEL:098-868-2578 FAX:098-868-2629
 e-mail: kumiai@nahaport.jp